

## 熱中症対策

本年度も昨年度に引き続き、コロナウィルス感染症対策を実施しながらの熱中症対策が求められています。そのため、環境省・気象庁が全国で実施する「熱中症警戒アラート」の情報を的確に職員間で共有し、学校生活における熱中症予防対策を実施します。

※ 熱中症警戒アラート：暑さ指数予測値に基づき、前日17:00及び当日5:00発表

### 1 熱中症予防のための基本的な流れ

#### (1) 熱中症警戒アラート発表時の対応

17:00（翌日の予報）	5:00（当日の予報）
①アラート情報を入手（教頭） ②翌日の対応を検討 ・授業・行事・部活動の確認 ・必要に応じて保護者に通知	①アラート情報を入手（教頭） ②当日の対応を確認・検討 ・職員への連絡（朝の打合せ）

#### (2) 熱中症警戒アラートの発表に関わらず必要な対応

8:00 11:00	授業・部活動・行事等の対応
①暑さ指数の測定（養護教諭） ・場所：保健室前グラウンド ②職員室中央ホワイトボードへ掲示 ③指針に基づいた対応の指示（教頭）	①事前の暑さ指数の確認 ②活動内容確認、柔軟な変更 ③下校時の生徒指導 （担任・教科担任・部活動顧問 等）

### 2 部活動等における熱中症事故の防止

（公財）日本スポーツ協会が示す右の「運動に関する指針」を遵守するとともに、特に次の点に注意する。

#### (1) WBGT31度（気温35度）時点

- ア 運動は原則中止する。
- イ やむを得ず活動する場合は、顧問が必ず活動に立ち会い、常に生徒の次の状況を確認する。
  - ・生徒が十分な睡眠や食事をとっている。
  - ・生徒がこまめに水分・塩分を補給する。
  - ・生徒が日陰や校舎内の風通しのよい場所で、適宜、長めの休憩をとる。
- ウ イの場合は、顧問は生徒に最大限の注意を行うように全体に再度注意を喚起する。

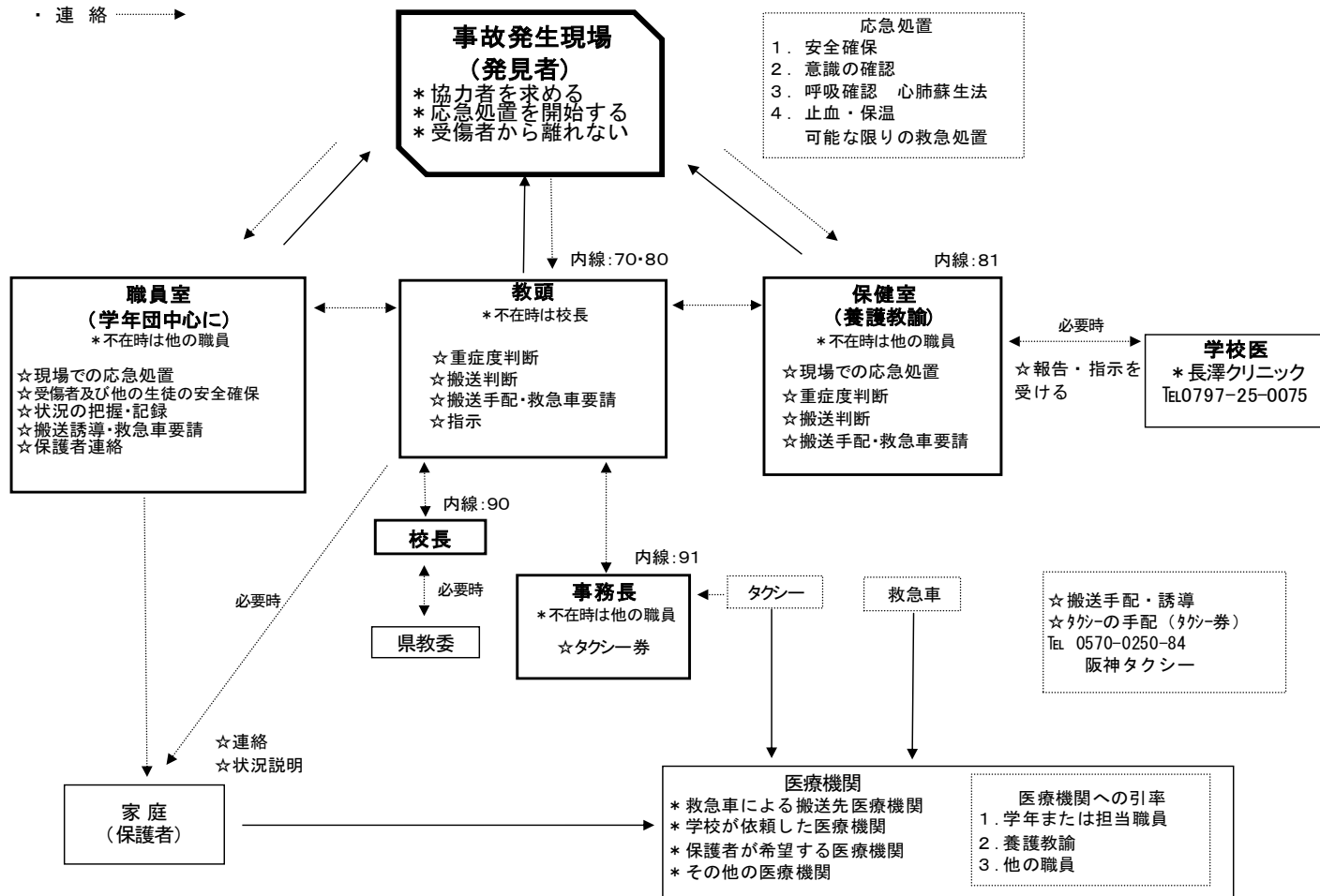
#### (2) WBGT28度（気温31度）時点

- ア 激しい運動や中止する。
- イ 顧問は生徒の次の状況を確認するとともに次の指示をし、厳重に警戒させる。
  - ・生徒が十分な睡眠や食事を取っている。
  - ・生徒がこまめに水分・塩分を補給する。
  - ・生徒が十分な休憩をとる。

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	
35℃以上	31以上	運動は原則中止
31～35℃	28～31	厳重警戒 (激しい運動は中止)
28～31℃	25～28	警戒 (積極的に休憩)
24～28℃	21～25	注意 (積極的に水分補給)
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)

# 《救急体制》

- ・ 行 動 →
- ・ 連 絡 →

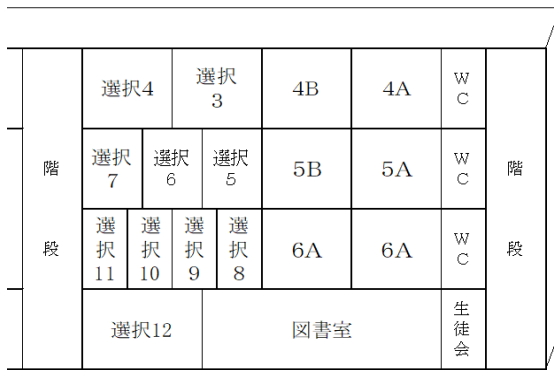


＜救急車要請の電話のかけ方＞

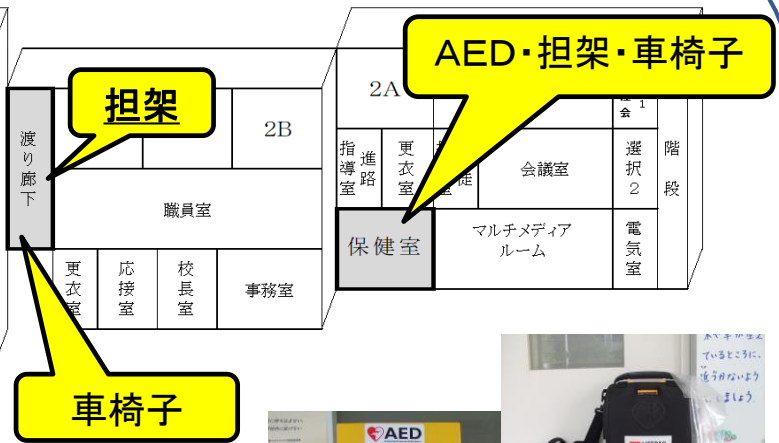
<p>① 119番通報</p> <p>② 「救急車をお願いします。」</p> <p>③ 「芦屋国際中等教育学校です。」              「住所は、芦屋市新浜町1-2です。」              「電話番号は、0797-38-2293です。」              「通報者は、職員の〇〇〇〇です。」</p>	<p>④ 事故の状況と人数、性別、年齢を告げる。</p> <p>⑤ 症状について、簡単、明確に報告する。</p> <p>⑥ 到着するまで、何をすればいいですか？</p> <p>⑦ 搬送入口に誘導者を手配する。</p>
---	--

# 校内のAED・搬送用器具の場所①

普通教室棟



中等管理・教室棟



AED・担架・車椅子

担架

車椅子

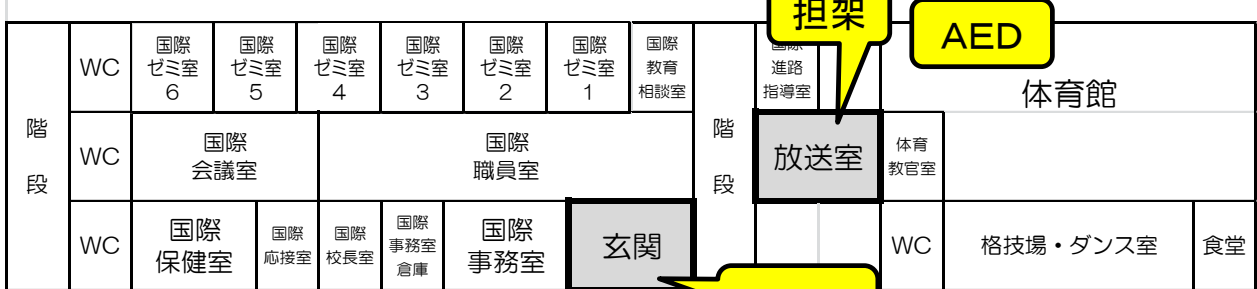
※エレベーターは、1F~3Fまで可動（3F~4Fは、階段のみ）

※車椅子は、  
1F保健室前と  
2~4Fの渡り廊下  
に置いてあります。



# 校内のAED・搬送用器具の場所②

国際高校管理棟



担架

AED

AED



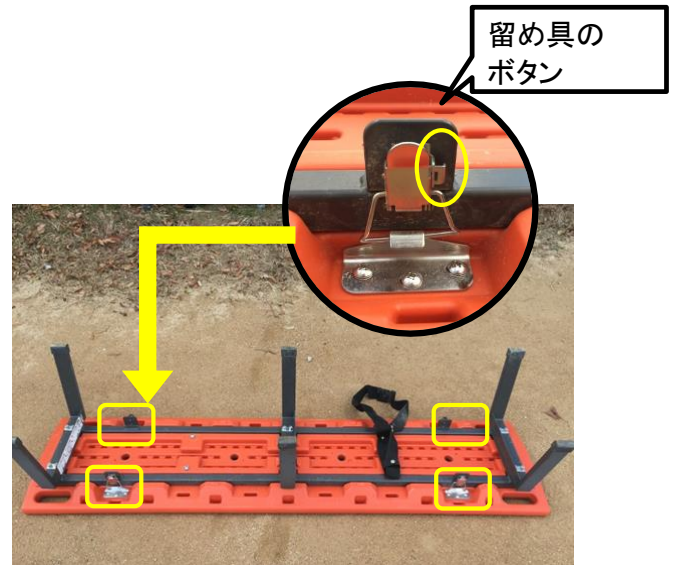
体育館入り口前

体育館の階段は、木のスロープをお使いください。

## 運動場にある担架



①ソフトボール部の練習場に2脚、保健室前に1脚あります。



②裏を向け、留め具のボタンを押しながらバーをおろす。(合計4カ所)



③4カ所のバーをおろし、引っかけをはずす。



④足の部分を持ち上げてはずし、座る面を担架として使用する。